



「Manda-la in 東広島」プロジェクト制作作品
宇佐美雅浩《大林春美 東広島 2024》2024 作家蔵／〈きのご雲写真〉撮影：鴉田藤太郎 提供：広島原爆被災撮影者の会

東広島市制施行50周年記念

Recollection ⇄ Vision 東広島^{まんだら}の過去・現在・未来

美術家・宇佐美雅浩が未来へ紡ぐ、記憶のドキュメント

2025.2.7 FRI
→ 3.23 SUN

その地域に住む人々との対話を通じて得た物語をもとに、画面に中心人物を据え、その周りに地域の歴史や社会的背景などを曼荼羅のように現地に配置し、1枚の写真を完成させる〈Manda-la〉シリーズを国内外で展開する宇佐美雅浩。本展のために実施した「Manda-la in 東広島」プロジェクトでは、東広島の特徴的な景色である赤瓦の風景に着目するとともに、近代に発展した酒づくりの歴史と文化を起点として、戦時中の東広島での原爆被災者救護の歴史をあらわした1枚の大型写真作品を大勢の参加者とともに作り上げました。完成作品のほか、酒づくりや戦時中の様子、平和活動などに関する市民のインタビューを交えたプロジェクトの制作過程をドキュメント映像としてあわせてご紹介します。

そのほか、「Manda-la in 東広島」に繋がる「赤屋根」に焦点を当てたシリーズでは、酒蔵地区の一角や寺院、田園、海辺、学校など多様な赤屋根を高い位置から捉え、新鮮な視点で赤屋根の風景を提示しています。また、東広島と広島、さらに海外の人々が所有する時計の文字盤を通じて、過去から現在、未来までを示唆する「8時15分」をテーマに、未来に向かって歩みを進めている現代の私たちが生きる時間を、多数の写真作品群によって俯瞰的に展示します。

東広島市立美術館（広報担当：桑原 学芸担当：大山）

【お問合せ】東広島市立美術館

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■ 開催概要

展覧会名 | 東広島市制施行50周年記念 Recollection ⇄ Vision 東広島の過去・現在・未来

会 期 | 2025年2月7日（金）～3月23日（日）

時 間 | 9：00～17：00（入館は閉館30分前まで／ただし、2月7日（金）は10：00開館、2月15日（土）、3月15日（土）は19：00まで開館

休 館 日 | 月曜日（祝休日の場合は翌平日）

会 場 | 東広島市立美術館3階展示室

主 催 | 東広島市立美術館、中国新聞社

後 援 | 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送（株）広島リビング新聞社、プレスネット、KAMONケーブル、FM東広島89.7MHz、尾道エフエム放送

観 覧 料 | 一般1000円、大学生500円*、高校生以下無料*

*学生証をご提示ください

20名以上の団体2割引／後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、無料でご観覧いただけます。

ウィズこどもデー | 一般800円、大学生400円*

会期中の毎週土曜日、高校生以下のこどもを同伴する保護者（2名まで）は当日料金より2割引になります。

*学生証をご提示ください

他の割引と併用不可／後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、無料でご観覧いただけます。

■ 展示構成

第1章 「Manda-la in 東広島」プロジェクト

美術家・宇佐美雅浩が長年取り組んでいる〈Manda-la〉シリーズの東広島版として本展のために実施したプロジェクト。2023年から市内リサーチを展開し、酒造り関係者、戦時中を知る人々へのインタビューを重ね、1枚の大型写真作品を約300人の参加者とともに制作した。東広島の特徴的な景観である赤瓦が広がる酒蔵通りの広場に、実際に美術セットや参加者を綿密に配置することで、東広島の酒づくりの文化と、原爆被災者救護の歴史をあらわす壮大な1枚絵を作り上げた。そのドキュメント映像とあわせて展示する。



「Manda-la in 東広島」プロジェクト制作作品
宇佐美雅浩《大林春美 東広島 2024》2024 作家蔵／（きのご雲写真）撮影：鴉田藤太郎

第2章 赤屋根の風景

田園地帯や酒蔵の街並みなど、東広島のあちらこちらで目にすることが出来る赤瓦の風景。本展制作プロジェクト以前から宇佐美雅浩が惹かれていた赤瓦の風景に着目し、伝統的な赤瓦から赤瓦の色をイメージした屋根まで、現在多様な赤瓦を目にすることが出来る。寺院、農家、酒蔵地区の一角、高校、こども園、海辺の民家など全8箇所、の赤屋根を、高所撮影による俯瞰からの視点で新鮮な赤屋根の景色を提示する。



《前垣壽男・佳代 寿延庭 2024》2024 作家蔵
©USAMI Masahiro Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery

第3章 8時15分

「私たちは未来へ一方通行で進む時を生きている。しかしながら、どれだけ遠い過去へも未来へも思いを馳せることはできる。」と語る宇佐美雅浩。原爆が投下された1945年8月6日8時15分から現在までの80年の時間について〈Manda-la〉プロジェクトに関連した人々が所有する時計の文字盤をクローズアップすることで想像を巡らせます。また、日本時間の8時15分に撮影された、世界各国の時計のスナップ写真約90点とコメント映像を通じて、世界とつながることが容易になった現代の我々が生きる時間を俯瞰的に示します。



《8時15分》より 2024 作家蔵 / 懐中時計 寄贈：渡邊美代子 広島平和記念資料館
©USAMI Masahiro Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery

■ 作者紹介

美術家 宇佐美雅浩(1972-)

千葉市生まれ。1997（平成9）年武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。撮影場所となる現地での取材や人々との対話から地域の歴史的背景や社会的様相を引き出し、それにまつわる人物を仏教絵画の曼荼羅の様式のごとく中央に据え、周囲に中心人物の世界観を表現するものや人々を配置することで、その関係性を縮図として1枚の写真に収める〈Manda-la〉プロジェクトを大学在学中から20年以上に渡り続けている。2015年に開催した個展で20年間未発表だった同シリーズを初公開し反響を呼んだ。気仙沼、福島、広島、千葉、佐渡島、キプロス島など、その活動範囲は日本国内のみならず海外へ拡大している。



■ 同時開催 コレクション展第Ⅳ期 懐かしい記憶、次の世代へ

「Recollection ⇄ Vision 東広島の過去・現在・未来」に関連して、特別展に関連して過去・現在・未来をテーマに、東広島のかつてあった風景を捉えた絵画などを交えながらコレクションを展示します。

会 期 | 2025年2月7日（金）～3月23日（日）

会 場 | 東広島市立美術館 2階展示室

主 催 | 東広島市立美術館

観 覧 料 | 一般 300円、大学生 200円、高校生以下無料



谷本正美《四日市本陣跡》1983

■ 関連イベント

1 公開制作「Manda-la in 美術館」

〈Manda-la〉シリーズでは取材内容をもとに作家がラフ図を描き、物の配置を検討し、最終的に人物が指定の位置に入ることによって1枚の絵が完成されます。今回は「美術館の表と裏」をテーマに、その制作過程を辿りながら、展示会会期を通じて館内にあるものを利用しながら〈Manda-la〉をつくり上げます。

※以下の日程で宇佐美雅浩氏による公開制作を行います。

2月7日（金）、3月1日（土）、3月23日（日）

各日 11:00～12:00、13:30～15:00

会 場 3F 展示室

参加費 要観覧券（申込不要）

2 アーティストトーク

宇佐美雅浩氏と、県内でラジオ DJ として活躍し、「Manda-la in 広島」(2014) に協力したキムラミチタ氏をゲストに、〈Manda-la〉シリーズや本展での制作プロジェクトについてお話しいたします。

2月8日(土) 14:00～15:30

会場 1F アートスペース

ゲスト 宇佐美雅浩(出品作家)、キムラミチタ(フリーパーソナリティ) / 進行 大山真季(当館学芸員)

定員 50名(事前申込制、参加無料) ※お申込み1組4名まで

締切 2月3日(月)

キムラミチタ Michita KIMURA

1974年8月20日生まれ、広島県廿日市市出身のフリーパーソナリティ。広島工業大学専門学校・音響メディア学科で学び、94年からラジオやテレビ、雑誌等のメディアでキャリアをスタート。2000年よりDJとして活動を開始。過去の主な出演番組は…『キムラミチタのVibe ON! MUSIC』『DAYS!』『ライブトライブ』(HFM)、『広島歌謡曲ナイト』(RCC)等多数。構成作家、イベントオーガナイズ、音楽誌制作、専門学校講師、NPO法人『ひろしまジン大学』運営、広島県営SNS『日刊わしら』編集部員等、その活動は多岐に渡る。



3 國本文平ダンスパフォーマンス

ダンサー・作業療法師として活動する國本文平氏が、本展会場を巡りながら展示作品と呼応したダンスパフォーマンスを展開します。

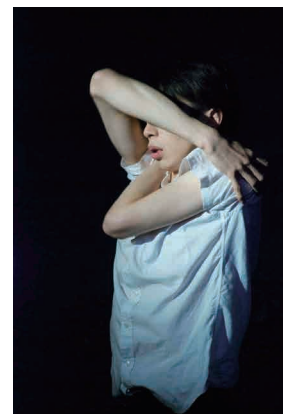
2月22日(土) 17:30～18:30

会場 3F 展示室ほか

定員 30名(事前申込制) ※1組4名まで申込可

参加費 要観覧券

締切 2月8日(土) 必着



國本文平 Bumpei KUNIMOTO

國本文平 《The son》2012 Paris 撮影：HIDEMI KANBARA

1985年生まれ。15歳の時、交通事故にあいリハビリのためクラシックバレエとコンテンポラリーダンスを始める。世界的なコンテンポラリーダンスの登竜門であるYokohama Dance Collection EX2011で『若手振付家のための在日フランス大使館賞』を受賞し渡仏。文化庁新進芸術家海外研修生2016-2018として再度渡仏し、フランスの振付家と創作や研究を深めている。ダンサーとして、また作業療法士として芸術と医学を舞台やワークショップにおいて融合させ、より良い心身の在り方を探求している。

4 Recollection ⇄ Vision × 西条酒蔵ガイド

本展制作作品の撮影地である西条本町歴史広場や、賀茂泉酒造の前垣氏庭園(寿延庭)などをガイドした後に、本展を鑑賞します。

3月15日(土) 14:00～16:00

ガイド 学生ガイドてくてく

会場 西条酒蔵通り、東広島市立美術館

定員 20名(事前申込制)

参加費 観覧料

締切 3月1日(土)



※写真は過去に実施した酒蔵ガイドの様子です

東広島市立美術館 広報用画像申込書

■FAX 082-430-7118 ■E-mail 2636026@izumi-techno.jp (東広島市立美術館 指定管理者(株)イズミテクノ)

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年 月 日まで		

※上欄にご記入いただいた個人情報は、広報用画像貸出の目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

広報用画像一覧掲載ご希望の画像 (□にチェックをいれてください)			
① <input type="checkbox"/>		③ <input type="checkbox"/>	
② <input type="checkbox"/>		④ <input type="checkbox"/>	
			⑤ <input type="checkbox"/>
			
			⑥ <input type="checkbox"/>
			
			コレクション展第Ⅳ期

- ① 《早志百合子 広島 2014》2014 個人蔵 ©USAMI Masahiro Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery
- ② 「Manda-la in 東広島」プロジェクト制作作品 宇佐美雅浩 《大林春美 東広島 2024》2024 作家蔵
／(きのご雲写真) 撮影：鴉田藤太郎 提供：広島原爆被災撮影者の会
- ③ 《前垣壽男・佳代 寿延庭 2024》2024 作家蔵 ©USAMI Masahiro Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery
- ④ 《8時15分》より 2024 作家蔵／懐中時計 寄贈：渡邊美代子 広島平和記念資料館 ©USAMI Masahiro Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery
- ⑤ 國本文平 「The son」2012 Paris 撮影：HIDEMI KANBARA
- ⑥ 谷本正美 《四日市本陣跡》1983 東広島市立美術館

<画像使用に際しての注意>

- ・本展覧会広報目的での使用に限りです。使用可能期間は本展覧会期終了までとなります。
使用後はデータの破棄をお願いいたします。ただし、本展のレビュー記事についてはこの限りではありません。
- ・画像の二次使用はご遠慮ください。
- ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には下記の画像クレジットを必ずご掲載ください。
- ・作品画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はご遠慮ください。
- ・概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で本展覧会広報事務局（申請先に同じ）までお送りいただきますようお願いいたします。
- ・掲載及び放送後は、お手数ですが、掲載誌・同録 DVD を広報事務局へ1部ご送付願います。
- ・下記広報画像のほかに、東広島市立美術館の外観写真もご提供可能です。ご希望の方は広報事務局までお知らせください。